

きいて・めもして・こたえよう

ニュース 食品ロスの取り組み

名前

聞くめあて 食品ロスの「現状（数字などの事実）」と、地いきの「取り組みの内容」を、分けてメモしましょう。

おとさない言葉：現状・数字・取り組み

放送が終わったら、開いて問題に答えましょう。

(1) 日本では、一年間に、およそどれくらいの食べ物か、すてられていますか。

(2) それは、国民一人が、毎日どれくらいすてているのと同じ量ですか。

(3) スーパーの「もったいないコーナー」とは、どんな取り組みですか。○をつけましょう。

ア その日に売り切りたい商品を、目立つ場所に集めて安く売る

イ こわれた商品をすてる

ウ 新しい商品だけをならべる

(4) 食堂での取り組みとして、話に出てきたものはどれですか。○をつけましょう。

ア 食べ切れる量を注文するようによびかける

イ りよりの数をふやす

ウ 客に多く食べさせる

(5) 食品ロスについて、もっと知りたいことを「しつもの文」で一つ書きましょう。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声流す）。読む回数：1回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

ニュースです。まだ食べられるのに、すてられてしまう食べ物、「食品ロス」を、へらすための、新しい取り組みが、始まりました。今日は、食品ロスの現状と、地いきの取り組みを、しょうかいします。

国の調べによると、日本では、一年間に、およそ、五百万トン以上の食べ物が、まだ食べられるのに、すてられています。これは、国民一人が、毎日、おにぎり一つ分を、すてているのと、同じ量にあたるそうです。

このむだを、へらそうと、わたしたちの町の、スーパーでは、新しい取り組みを、始めました。それは、その日に売り切りたい商品を、店の入り口の、目立つ場所に、あつめて、安く売る「もったいないコーナー」です。

また、ある食堂では、客に、食べ切れる量を、注文するように、よびかけたり、のこったりょうりを、持ち帰るための、入れ物を、用意したりしています。こうした取り組みが、少しずつ、広がっているのです。

食品ロスをへらすことは、ごみをへらし、かんきょうを守ることに、つながります。買すぎない、食べのこさない。わたしたち一人一人にできることから、始めることが、大切です。

メモのれい

ニュース：食品ロスの取り組み

現状（数字）：日本で一年におよそ五百万トン以上／国民一人毎日おにぎり一つ分

スーパー：売り切りたい商品を目立つ場所に集めて安く売る「もったいないコーナー」

食堂：食べ切れる量を注文/持ち帰りの入れ物を用意→取り組みが広がる

こたえと かいせつ

(1) 五百万トン以上

「一年間に、およそ、五百万トン以上の食べ物が…すてられています」の部分です。

(2) おにぎり一つ分

「国民一人が、毎日、おにぎり一つ分を、すてているのと、同じ量」と言っていました。

(3) ア（その日に売り切りたい商品を、目立つ場所に集めて安く売る）

「売り切りたい商品を…目立つ場所に、あつめて、安く売る『もったいないコーナー』」と言っていました。

(4) ア（食べ切れる量を注文するようによびかける）

食堂では「食べ切れる量を、注文するように、よびかけたり」「持ち帰るための入れ物を用意」していました。

(5) (例) 家では、どうすれば食品ロスをへらせめますか。／すてられた食べ物は、どうなりますか。

食品ロスに関係する「たずねる文（～ですか。）」になっていれば正解です。